安全データシート

この安全データシート は規則(EC)No. 1907/2006の要件に準拠している
JIS Z 7253:2012

改訂日 19-7-2022
版数 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Monarch DNA Cleanup Binding Buffer
製品番号	T1031
登録番号	情報なし

安全データシート の供給者の詳細

供給者
ニュー・イングランド・バイオラボ・ジャパン株式会社
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビル第
2-03-5669-6195
tech.jp@neb.com

緊急連絡電話番号	03-5669-6191
電子メールアドレス	tech.jp@neb.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	情報なし

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性　短期(急性)	分類できない
水生環境有害性　長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語 警告

危険有害性情報

飲み込むと有害
皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置

- 該当しない
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること
- 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること
- 口をすすぐこと
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

保管

- 該当しない

廃棄

- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし.

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	30 - 40%	既存	(1)-215	既存	(1)-215

Pollutant Release and Transfer Registry (PRTR)
該当しない

労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない

表示対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス 治療を行う 医師にこのSDSを示すこと.

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと. 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること.

皮膚に付着した場合 直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと. 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること.

眼に入った場合 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと. コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること. 受傷部をこすらないこと. 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること.

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと. 口をすすぐこと. 意識のない者には、何も口から与えてはならない. 医師に連絡すること.

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある. 灼熱感.

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 個人用保護衣を着用すること(項目8を参照).

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること.

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること.

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと.

特有の危険有害性	情報なし.
引火性特性	引火性液体.
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること.
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない. 個人用保護具を使用すること.
その他の情報	警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある.

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. 十分換気されているか確認すること. 指定された個人用保護具を着用すること.
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること.
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと.
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと.
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと.
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること.
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること.

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと. 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること. この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと. 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること.
衛生対策	適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する. この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと. 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること.

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること. 子供の手の届かない場所に保管すること.

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない.
生物学的職業性ばく露限界値	供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない
設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム.

環境ばく露防止 情報なし.

個人用保護具[PPE]

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる.

手の保護具 適切な手袋を着用する. 不浸透性手袋.

眼、顔面の保護具 薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること.

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する. 長袖の衣類.

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	無色
物理状態	液体
色	情報なし
臭い	なし
臭いのしきい値	情報なし

特性	値	備考 ・方法
融点／凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	°C / °F	知見なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点	°C / °F	ASTM D-93
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH	5.10-5.30	
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n ーオクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は比重		
相対密度		情報なし
蒸気濃度	情報なし	
かさ密度	情報なし	
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし.

化学的安定性 通常の条件下で安定.

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない.

避けるべき条件 情報なし.

混触危険物質 強酸. 強塩基. 強酸化剤.

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし.

爆発データ
静電放電に対する感度 なし.
機械的衝撃に対する感度 なし.

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている
ATEmix(経口) 1,217.00 mg/kg

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
企業秘密	= 475 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	= 3.181 mg/L (Rat) 4 h = 7.655 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字
Rat: ラット
Rabbit: ウサギ

症状 発赤. 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある.

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある. 飲み込むと有害. (成分に基づく).

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 気道刺激を引き起こすおそれ.

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 皮膚刺激. (成分に基づく).

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない. 強い眼刺激. (成分に基づく). 発赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある.

皮膚腐食性／刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類. 皮膚刺激. 皮膚刺激のおそれ.

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類. 強い眼刺激.

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない.

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない.

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている.

残留性・分解性 情報なし.

生体蓄積性

成分情報

化学品の名称	分配係数
企業秘密	-1.7

土壌中の移動性 情報なし.

オゾン層への有害性 分類できない. 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない.

他の有害影響 情報なし.

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと.

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制
Pollutant Release and Transfer Registry (PRTR)
該当しない
労働安全衛生法

通知対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない
消防法:
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない
水道法
水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
DSL／NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
EINECS／ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
化審法インベントリ	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.
NZIoC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること.

凡例:
TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト ／非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質目録
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー
NZIoC - ニュージーランド 化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日	19-7-2022
改訂記録	情報なし.

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA (環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
製品評価技術基盤機構(NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している. この安全データシートで提供される情報は、発行日の時点における弊社の知識と信念の及ぶ限りにおいて正確な情報です。この情報は安全な取り扱い、使用、加工処理、保管、輸送、廃棄と放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証であると解釈することも品質明細書であると解釈することもできません。この情報は特定の物質のみに関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、この物質が他の何らかの物質と併用された場合または何らかの加工処理に使用された場合には有効でない場合があります。New England Biolabsは、製品の取り扱いまたは製品との接触の結果として生じるいかなる損害に対しても責任を負わないものとします.

安全データシートのおわり

Japan SDS version information - JGHS

UL release date: 28 January 2022
GHS Revision 6

日本 Partial process, including GHS Wizard, NOT TW

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない

他の危険有害性 情報なし

Component	化審法番号
情報なし	(1)-215

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない.

生物学的職業性ばく露限界値 該当しない

成分情報

化学品の名称	分配係数
企業秘密	-1.7

Pollutant Release and Transfer Registry (PRTR)
該当しない.

国内規制
日本
Pollutant Release and Transfer Registry (PRTR)
該当しない
労働安全衛生法

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

水道法
水道法第4条、法定水質基準

改訂記録

セクション3: 組成及び成分情報

毒物及び劇物取締法
該当しない

労働安全衛生法

表示対象物質
毒物及び劇物取締法表示対象物質